

## プログラム

- ※取材受付を美術館入り口に設けておりますので必ずお立ち寄りください。
- ※先着順にスチール・ムービーそれぞれのカメラ位置整理券を配布いたします。
- ※美術館内での撮影にあたって注意事項があります。FAX送信用紙をご確認ください。

### 【第一部】 16:30~18:10 基調講演・座談会 @ Café 1894

- 16:30-16:35 ■主催者挨拶 ▶合場直人 だいまるゆう 大丸有まちづくり協議会理事長
- 16:35-16:40 ▶久保成人 観光庁長官
- 16:40-17:00 ■基調講演 「大丸有地区に期待する都市交流・創造・文化力」
- ▶青山侑 やましろ 明治大学公共政策大学院教授/元東京都副知事
- 17:00-18:10 ■座談会 「都心の魅力-東京そして大丸有地区-」 モデレーター：青山侑
- ▶久保成人 観光庁長官
- ▶パトリシア・ペーダー・ジョンストン EGG JAPAN (日本創生ビレッジ) ビジネス開発コンサルタント
- ▶合場直人 大丸有まちづくり協議会理事長

### 【第二部】 18:10~19:00 伝統芸能披露 @ 三菱一号館美術館

- ※伝統芸能披露は撮影不可。※そのほか美術館内でのレセプション(飲食、ジャズ演奏)は撮影いただけます。
- ※伝統芸能披露の写真は、同日21時までにオフィシャル写真を提供いたします。

#### 18:10-18:35 ■伝統芸能披露① 飛翔 ▶鼓：麻生花帆 笛：鳳声晴久



##### ■麻生花帆

東京芸術大学大学院音楽研究科博士課程修了。邦楽囃子を含む三味線音楽系統では初の博士号を取得。安宅賞受賞。長唄協会、日本舞踊協会会員、横浜国立大学非常勤講師。坂本龍一プロデュース公演、小澤征爾サイトウキネンフェスティバル等多数出演。囃子を藤舎呂船に師事し「藤舎花帆」の名で、日本舞踊を松本幸四郎に師事し「松本幸妃」の名でも活動。

#### 18:35-19:00 ■伝統芸能披露② 歌舞伎舞踊 常磐津「関の扉 生酔の段」



- ▶立方 関兵衛：中村橋吾
- ▶浄瑠璃：常磐津兼太夫・常磐津千寿太夫
- ▶三味線：常磐津菊与志郎 上調子：岸澤満佐志
- ▶附打：山崎徹

##### ■七代目 常磐津兼太夫

1963年東京生まれ。常磐津英寿(四世 常磐津文字兵衛)の次男。1966年に初舞台を踏む。1979年七月一日常磐津流名を許され、一佑太夫となる。1986年 歌舞伎公演初出演。同年3月東京芸術大学音楽学部邦楽科卒業。1996年2月3日七代目常磐津兼太夫を襲名。2012年 重要無形文化財「常磐津節」(総合認定)保持者認定。受賞歴：財団法人清栄会奨励賞(1998年)、国立劇場特別賞(2004年)。

あらすじ：雪の降り積もる達坂の関、関守の関兵衛が宗貞と共に居る。酒に酔った関兵衛が宗貞とのやり取りの後、独り酒を飲むが、盃に移った星の影を見て天下を取る機運を見て取り、大きな斧を持って桜の大木を切るうとする。

### 19:00~20:00 パーティ @ Café 1894

久保成人(観光庁長官)・福澤武(大丸有まちづくり協議会会長)・高橋明也(三菱一号館美術館長)ほか、主催者・来賓が出席

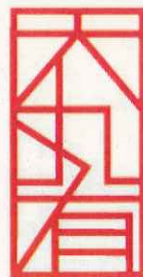
※歓談中に19:30頃から生ジャズライブをお楽しみいただけます。

(テナーサクソ：テディ熊谷/ベース：藤巻良康/ドラムス：海老澤幸二)

※第二部開催中は美術展「三菱一号館美術館名品選-2013 近代への眼差し 印象派と世紀末美術」を観覧いただけます。

#### 三菱一号館とは

1894(明治27)年、開国間もない日本政府が招聘した英国人建築家ジョサイア・コンドルによって設計された、三菱が東京・丸の内に初めて建設した赤レンガのオフィスビル。当時は館内に三菱合資会社の銀行部が入っていたほか、階段でつながった三階建ての棟割の物件が事務所として貸し出されていた。建物は老朽化のために1968(昭和43)年に解体されたが、丸の内パークビルディングの開発に合わせ、40年あまりの時を経て、原設計に則って同じ地に復元。19世紀末に日本の近代化を象徴した三菱一号館は、2010(平成22)年春、三菱一号館美術館として開館。



#### 大丸有まちづくり協議会とは

大手町・丸の内・有楽町地区の地権者主体の協議会。企業、団体及び行政等のまちづくりに係る主体との連携を図り、都市空間の適切かつ効率的な開発、利活用等を通じたまちづくりを展開することにより、当地区の付加価値を高め、東京の都心としての持続的な発展に寄与することを目的とする。1988(昭和63年)に設立。現在約90社の会員が参加。



#### 報道関係 お問合せ先

一般社団法人大手町・丸の内・有楽町まちづくり協議会 設立25周年記念事業

広報担当：株式会社バウム 吉本 TEL:03-6231-1545 FAX:03-6368-3632 E-mail:prs@ba-um.jp

大丸有まちづくり協議会 設立25周年記念事業

# 「三菱一号館美術館」ユニークベニュー活用推進イベント

## 取材申請書 (FAX 03-6368-3632)

※該当する項目をご記入の上、11月17日(日)17:00までにFAXにてご返信ください。  
第一部、第二部、パーティともご取材の場合は、すべてにチェックをお願いいたします。

第一部：基調講演・座談会 11月18日(月)16:30～18:10

ご出席

ご欠席

スチール撮影の予定あり ムービー撮影の予定あり

第二部：伝統芸能披露 11月18日(月)18:10～19:00

ご出席

ご欠席

※伝統芸能披露は撮影不可。※そのほか美術館内でのレセプション(飲食、ジャズ演奏)は撮影可能。  
※伝統芸能披露の写真は、同日21時までにオフィシャル写真を提供いたします。

パーティ 11月18日(月)19:00～20:00 ご出席 ご欠席

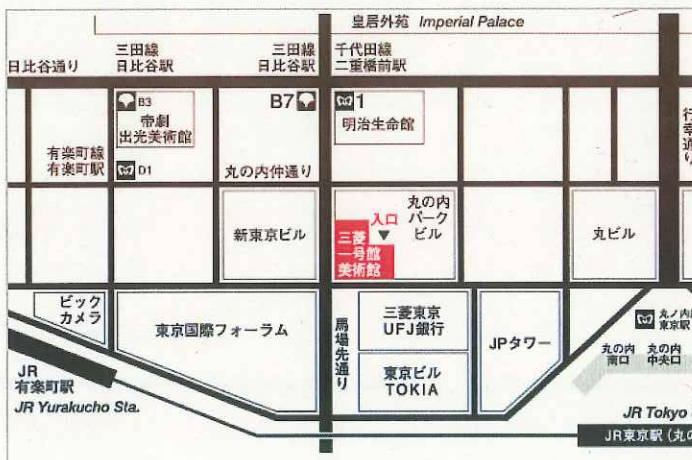
お名前： \_\_\_\_\_ 計 \_\_\_\_\_ 名様

御社名： \_\_\_\_\_ 貴媒体名： \_\_\_\_\_

ご連絡先： \_\_\_\_\_

email: \_\_\_\_\_

備考： \_\_\_\_\_



【日時】11月18日(月)

■第一部：基調講演・座談会  
16:30～18:10 (16:00報道受付開始)

■第二部：伝統芸能披露/パーティ  
18:10～20:00 (17:50報道受付開始)

【場所】三菱一号館美術館 (丸の内2-6-2)

※報道受付：左図記載の入口

### 注意事項

- 取材時の美術館内の作品の映り込みは問題ありません。(一点撮りは不可)
- フラッシュ・ストロボを含む照明器具を用いた撮影はお断りいたします。
- 三脚や脚立の使用はお控えください。



報道関係 お問合せ先

一般社団法人大手町・丸の内・有楽町まちづくり協議会 設立25周年記念事業

広報担当：株式会社パウム 吉本 TEL:03-6231-1545 FAX:03-6368-3632 E-mail:prs@ba-um.jp